

とれいんとれいん

2013. 2. 8

発行責任者： 遠山 雅彦

神領分会は、1月28日にOBである養田さんの家で、昨年に退職された後藤節雄さんの「退職ご苦勞様会」を開催しました。後藤さんは運転二課の二回生として国鉄に採用され、その後稲沢第二機関区に配属されました。稲沢では電気機関士として東海道線の貨物輸送を担っていました。JR発



足に合わせ、神領電車区へ転勤となり、以来電車運転士として25年中央線の運転士を続け、構内運転士の車両区への移管を受け神領車両区で退職を迎えました。組合では乗務員分科の役員や総務関係の役員を担ってきて、45年間闘ってきました。後藤さんは頑固さ個性も強いので、最後の国鉄の血を引く運転士と皆に言われていました。

「ご苦勞様会」には不当にも大垣に転勤になった加藤前分会長も駆けつけました。会



の中で加藤前分会長の激励と山本さんの60才のご苦勞様会も合わせて行いました。料理は久しぶりにOBの樋口さんに手料理を作ってもらい新鮮な刺身と鍋などで話しに花を咲かせました。多くのOBと組合員でOBになってもともに運動を進めていくことを確認し合い、ご苦勞様会は大いに盛り上がりました。

後藤さん本当にご苦勞様でした。なお、後藤さんは退職後は中津川に帰られるということでした。ぜひ、機会を見つけ皆で中津川の山奥に訪ねていきたいと思ひます。

JR東海労神領分会